

令和2年度(2020年度)用

小学校国語科用

「新しい国語」 臨時休業明けの 年間指導計画参考資料 【6年】

令和2年(2020年)6月版

※本資料は、令和2年度用「新しい国語」に基づいて、学校での授業と、学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を、一例として示したものです。地域や学校の状況に応じて、適宜ご活用いただければ幸いです。

東京書籍

単元の指導計画案

・太枠…感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動が含まれる単元。

・各単元の評価計画案は、弊社ウェブサイトで公開している「令和2年度 年間指導計画作成資料」をご覧ください。

| 6年 | | | |
|--|---|---|----------|
| 単元・教材・配当時数 教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動(概要・時数) | 学校での授業時数 |
| 気持ちよく対話を続けよう 2時間(話聞2) 教科書:P.10～11 | ●相手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、対話を続けていくことができる。 ◇ふだんの自分たちの対話について考えたことや気になったニュースについて伝え合う。 ----- 1 これまでの学習を振り返り、教科書の例を見て、互いの考えを比較しながら対話を続けるという学習課題を確かめる。 2 対話を続ける際に気をつけることについて、考えたことを伝え合う。 3 気になったニュースについて対話する。 4 対話して気付いたことを伝え合い、学習したことを振り返る。 | ・〈2の一部〉教科書の例を読み、対話を続ける際に気をつけることについて自分の考えを持つ。(※考えの交流は学校授業) ・〈3の一部〉新聞やテレビを見て、気になったニュースをピックアップする。 ・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方について学習する。 【0.5時間(話聞0.5)】 | 1.5時間 |
| 原因と結果に着目しよう 2時間(書2) 教科書:P.12～13 | ●原因と結果の関係を把握して、目的に応じて書くことができる。 ◇原因と結果の関係が分かるような文章を書く。B(2)ア ----- 1 原因と結果の関係を学ぶという学習課題を確かめる。 2 教科書の3つの文章を読んで、気づいたことを伝え合う。 3 教科書の絵や例を基にして、原因と結果の関係が分かるような文章を書く。 4 原因と結果の関係の書き表し方について、学習したことを振り返る。 | ・〈2の一部〉教科書の文章を読み、気づいたことについてまとめる。(※考えの交流は学校授業) ・〈3の一部〉教科書の絵や例を基にして、原因と結果の関係が分かるような文章を書く。(※文章の妥当性の確認や交流は学校授業) ・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方について学習する。 【1時間(書1)】 | 1時間 |

| 単元・教材・配当時数 教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動(概要・時数) | 学校での授業時数 |
|---|--|--|------------|
| <p>朗読で表現しよう サボテンの花／生きる ・国語のノートの作り方</p> <p>4時間(読4) 教科書:P.16～29</p> | <p>●自分の感じたことや考えたことが伝わるように朗読することができる。 ◇物語を朗読する。C(2)イ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 既習事項を確かめて単元の学習課題をつかみ、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 「サボテンの花」「生きる」を読み、感じたことや考えたことを伝え合う。</p> <p>3 朗読する作品を選び、感じたことや考えたことが聞き手に伝わるような朗読の仕方を考える。</p> <p>振り返る</p> <p>4 感じたことや考えたことを朗読で表現し、単元の学習を振り返る。</p> | <p>・〈2の一部〉「サボテンの花」「生きる」を読み、自分の感想や考えをノートに書く。(※考えの交流は学校授業)</p> <p>・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方、読み替え漢字の音訓・使い方について学習する。</p> <p>【1時間(読1)】</p> | <p>3時間</p> |
| <p>図書館へ行こう</p> <p>2時間(知技2) 教科書:P.30～33</p> | <p>●地域の図書館や社会教育施設の使い方を知り、必要ときに活用することができる。</p> <hr/> <p>1 地域の図書館や社会教育施設について知るという学習課題をつかみ、学習の見通しを立てる。</p> <p>2 さまざまな社会教育施設の特徴や機能を確かめて、学習したことを振り返る。</p> | <p>・〈2の一部〉教科書を読み、地域の図書館の使い方や社会教育施設について知識を得る。</p> <p>・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方について学習する。</p> <p>【1時間(知技1)】</p> <p>※地域の図書館や社会教育施設を訪れたり見学させたりする活動を別時期に行うか、適切な時期に単元の学習時期を移動させることが考えられる。</p> | <p>1時間</p> |
| <p>筆者の論の進め方を確かめよう イースター島にはなぜ森林がないのか</p> <p>7時間(読5書2) 教科書:P.34～45</p> | <p>●文章の構成や事例を捉え、筆者の論の進め方についての考えをまとめることができる。 ◇筆者の論の進め方について考えたことを話し合ったり文章にまとめたりする。C(2)ア</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでの学習を振り返って、筆者の論の進め方について考えるという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 「イースター島にはなぜ森林がないのか」を読み、文章の構成と要旨を押さえ、筆者の主張を捉える。</p> <p>3 イースター島から森林が失われた過程とその原因を読み取りながら、筆者の論の進め方について考える。</p> <p>4 筆者の論の進め方に対する自分の考えを話し合い、文章にまとめる。</p> <p>振り返る</p> <p>5 筆者の論の進め方について、どのような点が工夫されていたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめて、これからの学習に生かしていこうという意識を高める。</p> | <p>・〈4の一部〉筆者の論の進め方に対する自分の考えをノートに書く。(※考えの交流は学校授業)</p> <p>・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方について学習する。</p> <p>【1時間(書1)】</p> | <p>6時間</p> |

| 単元・教材・配当時数 教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動(概要・時数) | 学校での授業時数 |
|--|---|---|------------|
| <p>さまざまな熟語</p> <p>2時間(知技2) 教科書: P.46～47</p> | <p>●三字以上の熟語の構成について理解することができる。</p> <hr/> <p>1 三字以上の熟語の構成について理解するという学習課題を確かめる。</p> <p>2 三字熟語の構成と意味を理解する。</p> <p>3 四字以上の熟語の構成と意味を理解する。</p> <p>4 学習を振り返り、三字以上の熟語の構成についての理解を確かめる。</p> | <p>・〈2, 3の一部〉国語辞典等を活用しながら、教科書の練習題に取り組む。(※解答の確認は学校授業)</p> <p>・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方について学習する。</p> <p>【1時間(知技1)】</p> | <p>1時間</p> |
| <p>友達の意見を聞いて考えよう</p> <p>4時間(話聞4) 教科書:P.48～51</p> | <p>●他の人の意見と自分の意見を比較して、自分の考えをまとめることができる。</p> <p>◇メディアの使い方に関する質問について、友達の意見を聞いて考える。A(2)イ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでの学習を振り返って、話し手の考えと自分の考えを比べて聞くという学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 教科書に挙げられている三つのメディアについて考え、自分の意見と理由を確かめて話を聞くポイントを明確にする。教科書P.50の話を自分の意見と比較しながら聞く。</p> <p>3 友達と意見を聞き合い、メモを取る。メモをもとに共通点や相違点等を考える。</p> <p>振り返る</p> <p>4 他人の意見を聞き、それを自分の考えにどう生かしたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p> | <p>・〈2の一部〉教科書 P.50 の「田中さんの話」「山下さんの話」の音声を読み、聞き取った内容をノートに書く。(※各児童がDマークコンテンツ等を使用できる場合に限る)</p> <p>・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方について学習する。</p> <p>【1時間(話聞1)】</p> | <p>3時間</p> |
| <p>防災ポスターを作ろう</p> <p>7時間(書7) 教科書: P.52～57</p> | <p>●読み手の興味を引くような表現の効果を考え、書き表し方を工夫することができる。</p> <p>◇資料を用いて防災を呼びかけるポスターを作る。B(2)ア</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでの学習を振り返って、表現の効果を考え、書き表し方を工夫するという学習課題を明確にし、見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 調べるテーマと分担を決めて情報を集める。</p> <p>3 集めた情報を整理する。</p> <p>4 どのように情報を配置するのかを考え、ポスターの割り付けを考える。</p> <p>5 割り付けを基に、キャッチコピーや見出しを考えてポスターにまとめる。</p> <p>6 完成したポスターを読み合う。</p> <p>振り返る</p> <p>7 どのような点に気をつけてポスターを作ったかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめて、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。</p> | <p>・〈5の一部〉ポスターのキャッチコピーや見出しの案を考える。(※実際にどのようなキャッチコピーや見出しにするのかを決めるのは、学校授業で交流を経て行う)</p> <p>・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方、読み替え漢字の音訓・使い方について学習する。</p> <p>【1時間(書1)】</p> | <p>6時間</p> |

| 単元・教材・配当時数 教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動(概要・時数) | 学校での授業時数 |
|--|---|--|----------|
| 人物どうしの関係を考えよう 風切るつばさ 7時間(読5書2) 教科書:P.58～68 | ●人物どうしの関係を手がかりに、人物の心情を考えながら読むことができる。 ◇物語を読み、考えたことを伝え合う。C(2)イ つかむ 1 既習事項を振り返って、人物の関係と心情の変化を捉えるという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。 取り組む 2 「風切るつばさ」を読み、物語の出来事を押さえ、人物どうしの関係を捉える。 3 人物どうしの関係を踏まえながら、クルルとカララの心情とその変化について考える。 振り返る 4 人物の心情の変化について気づいたことを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめる。 | ・〈2の一部〉クルルとカララの関係をもとに、人物関係図としてノートにまとめる。 ・〈3の一部〉クルルの心情の変化と、物語を読んで心に残ったことをノートに書く。(※交流は学校授業) ・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方について学習する。 【2時間(読1書1)】 | 5時間 |
| 複合語 ・ことばあつめ 2時間(知技2) 教科書:P.70～73 | ●複合語の構成と特徴について理解することができる。 1 複合語の構成と特徴について理解するという学習課題を確かめる。 2 さまざまな言葉の組み合わせの例や複合語の特徴を知る。 3 身の回りから複合語を探す。 4 複合語の特徴や、複合語を使うよさについて考えて、学習したことを振り返る。 | ・〈3の一部〉教科書の文章や身の回りから複合語を探してノートに書く。 ・〈4の一部〉複合語のよさについて考えたことと、複合語を使って作った文をノートに書く。 ・P.72「ことばあつめ」に取り組む。 ・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方について学習する。 【1時間(知技1)】 | 1時間 |
| インターネットの議論を考えよう インターネットの投稿を読み比べよう 7時間(読5書2) 教科書:P.74～85 | ●複数の文章を読み比べて、それぞれの説得の工夫を読み取ることができる。 ◇インターネットの投稿を読み比べて、説得の工夫を考える。C(2)ア つかむ 1 これまでに学習したことやインターネットにまつわる自分の経験や知識を振り返り、説得の工夫を読み取るという学習課題を明確にして、見通しを立てる。 取り組む 2 投稿1～11を読み比べて、書き手の意見や主張、説得の工夫や効果について考える。 3 読み手を説得するための工夫やさまざまな表現の効果について考え、自分の意見を文章にまとめる。 振り返る 4 それぞれの投稿の説得の工夫をどうやって読み取ったかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、普段の日常生活の中に生かそうという意識を高める。 | ・〈2の一部〉それぞれの投稿で用いられている説得の工夫や効果について考えて、ノートにまとめる。 ・〈3の一部〉議論の続きに参加するつもりで、投稿の文章をノートに書く。(※交流は学校授業) ・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方について学習する。 【2時間(読1書1)】 | 5時間 |

| 単元・教材・配当時数 教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動(概要・時数) | 学校での授業時数 |
|---|---|--|---------------|
| <p>本は友達</p> <p>2時間(知技2) 教科書:P.86～93</p> | <p>●読書の意義を知り、自分の興味に応じた本を選んで読むことができる。</p> <hr/> <p>1 読みたい本を探して読むという学習課題を確かめる。</p> <p>2 「六年生の本だな」や、P.86・87・92 で紹介している本などを手がかりにして、読みたい本を探して読む。</p> <p>3 自分の興味に応じてどのように本を選んで読むことができるのかを振り返り、これからの学習や年間を通した読書活動に生かしていく意識を高める。</p> | <p>・〈2, 3の一部〉学習課題に沿って、読みたい本を探し、読書記録を付ける。</p> <p>【1.5 時間(知技 1.5)】</p> | <p>0.5 時間</p> |
| <p>詩を読もう</p> <p>いま始まる新しいいま</p> <p>1時間(読1) 教科書:P.96～97</p> | <p>●詩を読み味わい、感じたことや考えたことを友達と伝え合い、自分の考えをまとめることができる。</p> <p>◇詩を音読する。C(2)イ</p> <hr/> <p>1 詩を読んで感じたことや考えたことを伝え合うという学習課題を確かめる。</p> <p>2 詩の構成や表現に着目し、詩に描かれている情景や作者の思いについて考え、友達と伝え合う。</p> <p>3 友達と互いの考えを伝え合い、話し合っ て考えたことを基に、詩を音読する。</p> <p>4 どのような表現からどのようなことを感じたり考えたりしたかを振り返る。</p> | <p>・〈2の一部〉詩を読んで感じたことや考えたことをノートに書く。</p> <p>・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方について学習する。</p> <p>【0.5 時間(読 0.5)】</p> | <p>0.5 時間</p> |
| <p>話し合っ て考えを深めよう</p> <p>・生活の中の言葉</p> <p>6時間(話聞6) 教科書:P.98～107</p> | <p>●互いの意見を分類したり整理したりして、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。</p> <p>◇身の回りの言葉に関する話題について、異なる立場の人と話し合う。A(2)ウ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでの学習や話し合いの経験を振り返って、立場を明確にして話し合うという学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 話題を選び、自分の立場を決める。</p> <p>3 話し合いの計画を立て、役割ごとの留意点を整理する。</p> <p>4 話し合いの計画に沿って、選んだ話題について話し合う。</p> <p>振り返る</p> <p>5 単元の学習を振り返り、身につけた「言葉の力」について確かめる。</p> | <p>・〈2の一部〉選んだ話題について、自分の考えをノートに書き出す。</p> <p>・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方について学習する。</p> <p>【0.5 時間(話聞 0.5)】</p> | <p>5.5 時間</p> |

| 単元・教材・配当時数 教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動(概要・時数) | 学校での授業時数 |
|---|--|---|----------|
| <p>場面に応じた言葉づかい ・言葉は変わる</p> <p>3時間(知技3) 教科書:P.108～111</p> | <p>●相手や場面に応じた言葉遣いを理解し、適した言葉を選んで使うことができる。</p> <p>-----</p> <p>1 場面に応じた言葉遣いについて考えるところを学習課題を確かめる。</p> <p>2 場面に応じてどのような言い方をすればよいか考えながら言葉を使い分け、そのよさを確かめる。</p> <p>3 学習を振り返り、相手や場面に応じた言葉遣いについて理解したことを確かめる。</p> | <p>・〈2の一部〉教科書の練習題に取り組む。(※解答の確認は学校授業)</p> <p>・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方について学習する。</p> <p>【1時間(知技1)】</p> | 2時間 |
| <p>物語を読んで、考えたことを伝え合おう 海のいのち</p> <p>10時間(読8書2) 教科書:P.112～127</p> | <p>●物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考え、考えたことを文章にまとめることができる。</p> <p>◇物語を読み、考えたことを伝え合う。C(2)イ</p> <p>-----</p> <p>つかむ</p> <p>1 既習事項を振り返って、物語が最も強く語りかけてきたことを考えるという学習課題を確かめて、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 「海のいのち」を読み、物語で起こる出来事と中心人物の変化について考える。</p> <p>3 物語が自分に最も強く語りかけてきたことを短い言葉でまとめ、伝え合う。</p> <p>振り返る</p> <p>4 物語が自分に最も強く語りかけてきたことがどんなものだったかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめる。</p> | <p>・〈2の一部〉物語を通読して考えたことや感じたことをノートに書く。(※交流は学校授業)</p> <p>・〈3の一部〉これまでの読解を通して、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考え、ノートに書く。(※交流は学校授業)</p> <p>・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方について学習する。</p> <p>【1時間(読1)】</p> | 9時間 |
| <p>漢文に親しむ ・日本の文字</p> <p>3時間(書3) 教科書:P.128～133</p> | <p>●漢文を音読し、言葉の響きやリズムなどに親しむことができる。</p> <p>◇漢文を読んで感じたことや考えたことを文章にまとめる。</p> <p>-----</p> <p>1 漢文を音読し、その言葉の響きやリズムに親しむという学習課題を確かめる。</p> <p>2 教科書に取り上げられている漢文を音読し、言葉の響きやリズムを味わい、漢文について知る。</p> <p>3 好きな漢文を一つ選び、選んだ理由や気に入っているところを文章にまとめる。</p> <p>4 漢文の言葉の響きやリズムについて、学習したことを振り返る。</p> | <p>・〈2の一部〉教科書の漢文の朗読音声を聞き、言葉の響きやリズムを感じながら漢文を音読する。(※各児童がDマークコンテンツ等を使用できる場合に限る)</p> <p>・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方について学習する。</p> <p>【1時間(書1)】</p> | 2時間 |

| 単元・教材・配当時数 教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動(概要・時数) | 学校での授業時数 |
|---|--|--|--------------|
| <p>文と文とのつながり</p> <p>2時間(知技2)</p> <p>教科書:P.134～137</p> | <p>●接続語句や文末表現などに注目し、文と文との接続の関係を捉えることができる。</p> <hr/> <p>1 これまでの経験や学習を想起し、文と文との接続の関係について考えるという学習課題を確かめる。</p> <p>2 意味を分かりやすくするための文と文とのつなげ方の工夫を知る。</p> <p>3 これまでに学んだ教材文から、つなげ方の工夫を見つけ、ノートにまとめる。</p> <p>4 文と文とのつながりについて気をつけることをまとめ、学習したことを振り返る。</p> | <p>・〈3の一部〉これまでに学んだ教材文から、つなげ方の工夫を見つけ、ノートに書く。</p> <p>・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方について学習する。</p> <p>【0.5時間(知技0.5)】</p> | <p>1.5時間</p> |
| <p>町の未来をえがこう</p> <p>町の幸福論——コミュニケーションデザインを考える</p> <p>・情報を活用するときに気をつけよう</p> <p>13時間(読8話聞5)</p> <p>教科書:P.138～157</p> | <p>●複数の資料を読み、必要な情報を関係付けながら、それらを目的に応じて活用することができる。</p> <p>●自分の考えを伝えるために、構成を工夫したり資料を活用したりするなどの工夫をして発表することができる。</p> <p>◇資料を基に自分たちの町の未来について考え、プレゼンテーションをする。</p> <p>A(2)ア, C(2)ウ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでの学習や経験を振り返って、自分たちの町の未来について考えるという学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 「町の幸福論」を読んで、自分たちの町について考える。</p> <p>3 町づくりについて調べて、提案を考える。</p> <p>4 プレゼンテーションを発表し合い、意見を交流する。</p> <p>振り返る</p> <p>5 読み取ったことをもとに、構成を工夫したり資料を効果的に活用したりするなどの工夫をしてプレゼンテーションを行うことができたかを振り返る。</p> | <p>・〈2の一部〉自分たちの町の未来についての考えを、ノートに書く。</p> <p>・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方、読み替え漢字の音訓・使い方について学習する。</p> <p>【1時間(読1)】</p> <p>※町づくりについての調査は、学級外でのインタビューや地域の社会施設の利用も想定されるため、適切な時期に単元の学習時期を移動させることが考えられる。</p> | <p>12時間</p> |

| 単元・教材・配当時数 教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動(概要・時数) | 学校での授業時数 |
|---|---|--|----------|
| <p>世界に目を向けて意見文を書こう</p> <p>・目的や意図に応じた書き方</p> <p>7時間(書7)</p> <p>教科書: P.158～165</p> | <p>●事実と感想, 意見を区別して書き, 説得力を持つように書き表し方の工夫をして文章を書くことができる。</p> <p>◇児童労働やフェアトレードに対する自分の考えを意見文にまとめる。B(2)ア</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでの学習を振り返って, 説得力のある意見文を書くにはどのような工夫ができるかという学習課題を明確にし, 学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 説得力のある意見文を書くうえで, 書き表し方の工夫に気づく。</p> <p>3 フェアトレードに関する情報を収集し, フェアトレードについての考えを深める。</p> <p>4 主張を考え, 効果的な資料の活用や構成を意識して, 論の組み立てを考える。</p> <p>5 資料を効果的に活用して意見文を書く。</p> <p>振り返る</p> <p>6 どのような工夫をして意見文を書いたかを振り返って, 身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え, これからの学習に生かそうという意識を高める。</p> | <p>・〈5の一部〉構成メモをもとに意見文を書く。(※文章を読み合っでの交流は学校授業)</p> <p>・巻末の漢字表を利用し, 新出漢字の筆順・音訓・使い方, 読み替え漢字の音訓・使い方について学習する。</p> <p>【1時間(書1)】</p> | 6時間 |
| <p>関連する作品を読んで, すいせんしよう</p> <p>ヒロシマのうた</p> <p>8時間(読6書2)</p> <p>教科書:P.166～189</p> <p>【言葉の力】</p> <p>関連付けて読む</p> | <p>●戦争や平和について書かれた作品を読み, それらを関連付けて自分の考えを深めることができる。</p> <p>◇複数の作品を読み, 推薦のためのカードを書いて内容を説明したり, 考えたことを伝え合ったりする。C(2)イ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 既習事項やこれまでの読書経験を想起して, 複数の作品を関連付けて読むという学習課題を明確にして, 学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 「ヒロシマのうた」とともに, 戦争と平和をテーマにしたほかの作品を, 並行して読んでいく。</p> <p>3 読んだ作品から推薦したいものを選び, 「すいせんカード」を書いて紹介する。</p> <p>振り返る</p> <p>4 「ヒロシマのうた」と他の作品を関連付けて読んでどのようなことを思ったり考えたりしたかを振り返り, 身につけた「言葉の力」を確かめる。</p> | <p>・〈3の一部〉推薦する本を選び, 「すいせんカード」を書く。(※カードの書き方は, それまでに学校授業で確認しておく)</p> <p>・巻末の漢字表を利用し, 新出漢字の筆順・音訓・使い方について学習する。</p> <p>【0.5時間(書0.5)】</p> | 7.5時間 |

| 単元・教材・配当時数 教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動(概要・時数) | 学校での授業時数 |
|--|--|---|---------------|
| <p>読書とわたし</p> <p>2時間(読2) 教科書:P.190～193</p> | <p>●これまでの読書生活を振り返り、自分と読書との関係を捉え直し、読書生活を豊かにすることができる。</p> <p>◇自分にとって大切な一冊について友達と伝え合う。</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでの読書生活を振り返って、本や読書と自分との関わりを考えるという学習課題を明確にする。</p> <p>取り組む</p> <p>2 自分と本との関わり方を振り返り、自分にとっての「大切な一冊」を決める。</p> <p>3 「大切な一冊」と、それを選んだ理由について、友達と伝え合う。</p> <p>振り返る</p> <p>4 単元の学習を振り返って身についた「言葉の力」を確かめ、これからの読書生活に生かしていこうという意識を高める。</p> | <p>・〈2, 3の一部〉今まで読んだ本の中から「大切な一冊」を選び、選んだ理由をノートに書く。</p> <p>・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方について学習する。</p> <p>【0.5 時間(読 0.5)】</p> | <p>1.5 時間</p> |
| <p>いにしへの言葉に学ぶ</p> <p>3時間(書3) 教科書:P.196～201</p> | <p>●昔の人のものの見方や考え方を知り、それを、現代に生きる自分たちと結び付けて考えることができる。</p> <p>◇これまでに会った昔の人の言葉から、最も心に残ったものを選んで文章を書く。</p> <p>B(2)ウ</p> <hr/> <p>1 昔の人のものの見方や考え方を知るという学習課題をつかみ、学習の見通しを立てる。</p> <p>2 「昔の人からの手紙」と教科書に挙げられている古典の名言を読み、昔の人のものの見方や考え方と、現代の自分たちとの関係を考える。</p> <p>3 心に残った古典の名言を選び、自分の経験や知識と結び付けて文章にまとめる。</p> <p>4 昔の人のものの見方や考え方からどのようなことを考えたかを確かめ、学習を振り返る。</p> | <p>・〈2の一部〉「昔の人からの手紙」を読んで、感想をノートに書く。</p> <p>・〈3の一部〉名言に関わる体験や考えたことを書く。(※交流は学校授業)</p> <p>【1 時間(書 1)】</p> | <p>2 時間</p> |
| <p>表現をくふうする</p> <p>・ことばあつめ</p> <p>2時間(知技2) 教科書:P.202～204</p> | <p>●比喻や反復、倒置などの表現の工夫について理解することができる。</p> <hr/> <p>1 様々な表現の工夫について考えるという学習課題を確かめる。</p> <p>2 表現の仕方の違いと効果を知る。</p> <p>3 学んだ表現の仕方をういて、これまでに自分が書いた文章を書き直す。</p> <p>4 表現の工夫の仕方やその効果について学んだことまとめ、学習を振り返る。</p> | <p>・〈2の一部〉教科書の練習題に取り組む。(※解答の確認は学校授業)</p> <p>・〈3の一部〉これまでに自分が書いた文章を、表現の工夫を用いて書き直す。</p> <p>・P.204の「ことばあつめ」に取り組む。</p> <p>・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方について学習する。</p> <p>【1 時間(知技 1)】</p> | <p>1 時間</p> |

| 単元・教材・配当時数 教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動(概要・時数) | 学校での授業時数 |
|---|---|---|--------------|
| <p>心が動いたことを十七音で表そう</p> <p>4時間(書4) 教科書:P.206～209</p> | <p>●生活の中から題材を選び、言葉の選択や順序を工夫して、発見や感動を俳句で表すことができる。</p> <p>◇心が動いたことを俳句で表す。B(2)イ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでの学習や生活を振り返り、言葉を吟味し俳句を作るという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 季節を感じる言葉などから連想を広げ、題材を集める。</p> <p>3 集めた題材を基に、表現を工夫して俳句を作る。</p> <p>4 書いた俳句を読み合い、表現のよさや工夫を見つけて共有する。</p> <p>振り返る</p> <p>5 どのような表現の工夫をして俳句を作ったかを振り返り、身についた「言葉の力」を確かめる。</p> | <p>・〈3の一部〉表現を工夫して俳句を考えて、ノートに書く。</p> <p>・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方、読み替え漢字の音訓・使い方について学習する。</p> <p>【0.5時間(書0.5)】</p> | <p>3.5時間</p> |
| <p>さまざまな生き方について考えよう</p> <p>プロフェッショナルたち</p> <p>8時間(読6書2) 教科書:P.210～225</p> | <p>●文章を読んで、そこに書かれた人物の生き方や考え方から、自分の将来や生き方について考えることができる。</p> <p>◇教材文を読み、自分の考える「プロフェッショナル」について文章にまとめる。C(2)ア</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 文章に挙げられているプロフェッショナルの生き方から自分の将来や生き方について考えるという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 「プロフェッショナルたち」を読んで、3人のプロフェッショナルたちについて書かれていることを整理する。</p> <p>3 3人のプロフェッショナルたちが、それぞれどんな思いや考えを持って仕事に取り組んでいるかについて考える。</p> <p>4 3人の考え方や行動を比べたり、自分はどんな「プロフェッショナル」になりたいか考えたりして、自分が考える「プロフェッショナル」について文章にまとめる。</p> <p>振り返る</p> <p>5 文章を読んだことからどのように自分の考えを広げたり深めたりしたのかを振り返り、身についた「言葉の力」を確かめて、日常生活の中で生かす意識を高める。</p> | <p>・〈4の一部〉自分が考える「プロフェッショナル」について、文章にまとめる。(※交流は学校授業)</p> <p>・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方、読み替え漢字の音訓・使い方について学習する。</p> <p>【1時間(書1)】</p> | <p>7時間</p> |

| 単元・教材・配当時数 教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動(概要・時数) | 学校での授業時数 |
|--|---|---|------------|
| <p>言葉の学習をふり返る</p> <p>4時間(書4) 教科書:P.226～230</p> | <p>●これまでの言葉の学習を確かめながら、よりよい表現の工夫について考えて、活用することができる。</p> <p>◇これまでの学習を振り返りながら、表現を工夫して文章を書く。</p> <hr/> <p>1 これまでの学習を振り返って、よりよい表現の工夫について考えて活用するという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>2 文の組み立てやつながりを分かりやすくする観点を確かめる。</p> <p>3 文や文章全体を分かりやすく書く観点を確かめる。</p> <p>4 自分の好きな物事のよさを伝える文章を書いて読み合う。</p> <p>5 どのような表現の工夫が、どんなときに生かせるのかを振り返って、これからの学習や生活に生かしていく意識を高める。</p> | <p>・〈4の一部〉自分の好きな物事のよさを伝える文章を書く。(※交流は学校授業)</p> <p>・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方について学習する。</p> <p>【1時間(書1)】</p> | <p>3時間</p> |
| <p>「卒業文集」を作ろう</p> <p>5時間(書5) 教科書:P.232～237</p> | <p>●小学校6年間の経験を振り返り、伝えたい思いや考えを文章にまとめることができる。</p> <p>◇6年間の経験から学んだことを文章に書き、文集を作る。B(2)ウ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでの学習や小学校生活を振り返って、思いを伝える文章を書くという学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 6年間の経験から、書くことを探し、どのような出来事を取り上げるかを考え、文章の構成を整理する。</p> <p>3 考えた構成を基に、表現を工夫して文章を書く。</p> <p>4 書いた文章を読み合って感想を交流し、文集にまとめる。</p> <p>振り返る</p> <p>5 どのような工夫をして文章を書いたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめて、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。</p> | <p>・〈3の一部〉表現を工夫して文章を書く。</p> <p>・巻末の漢字表を利用し、新出漢字の筆順・音訓・使い方について学習する。</p> <p>【1時間(書1)】</p> | <p>4時間</p> |

| 単元・教材 既習事項との関連 | ●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動(概要・時数) | 学校での授業時数 |
|--|--|--|--------------|
| <p>聞いてほしい, この思い</p> <p>5時間(話聞5) 教科書:P.238～241</p> | <p>●自分の思いが伝わるように, 聞き手の興味・関心に応じて表現を工夫し, 話の構成を考えて話すことができる。</p> <p>◇6年間で経験した出来事について考えたことをスピーチをする。</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでの学習を振り返り, 思いが伝わるようなスピーチをするという学習課題を確かめ, 学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 話を伝える相手を決め, どんな思いを伝えるのかを考える。</p> <p>3 スピーチの構成や話し方の工夫を考えて練習する。</p> <p>4 スピーチをする。</p> <p>振り返る</p> <p>5 思いを伝えるためにどんな工夫をしてスピーチをしたかを振り返り, 身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え, これからの学習に生かそうとする意識を高める。</p> | <p>・〈2の一部〉話すときの工夫を考えてスピーチメモを作成する。</p> <p>【0.5時間(話聞0.5)】</p> | <p>4.5時間</p> |
| <p>未来に向かって 君たちに伝えたいこと／ 春に</p> <p>4時間(読2書2) 教科書:P.242～255</p> | <p>●文章と詩を読んで, 自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>◇自分の感じたことを伝え合う。C(2)イ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでの学習を振り返って学習課題を明確にし, 学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 「君たちに伝えたいこと」を読み, 筆者のメッセージについて考え, 考えたことを友達と話し合う。</p> <p>3 「春に」を読み, 作品からどのようなことを感じたり考えたりしたかを交流する。</p> <p>振り返る</p> <p>4 二つの作品を読んで考えたことをまとめて, 単元の学習を振り返るとともに, 一年間の学習を振り返って中学への意欲を高める。</p> | <p>・〈2, 3の一部〉それぞれの作品を読み, 感じたことや考えたことをノートに書く。</p> <p>【1時間(読1)】</p> | <p>3時間</p> |